



ふ み き 文樹さんのブルーベリー



「今年はこの木が良いな、ここは来年からだ」と生育状況をみながら1本1本丁寧に育てています。



大きく美味しく育ったブルーベリー。今年は1パック200gとたっぷりの量で提供しています。



昨年に引き続き、4パック単位のご注文は、保冷剤を入れた発泡スチロールの箱に入れてお届けします。

★1本1本の木に愛情込めて育ててます

暑い夏、文樹さんのブルーベリーの季節がやってきました。文樹さんの名字は高柳。実はおかげさま農場の高柳場長の親戚です。

「本家に怒られないようちゃんとしたものを出さないかね」と笑いながら、美味しいブルーベリーを作っています。最初の頃はスズメに実を食べられたり、泥棒が木を引っこ抜いていったりと大変だったそうですが、最近はそのような被害も無く、日々、管理や収穫に汗を掻いています。

ブルーベリーは特別な土作りが必要で、保水力と排水性を併せ持つ鹿沼土、土を酸性に保ち保水力があるピート土、そしてウッドチップを敷き詰めて乾燥を防ぎながら育てます。

「根は下ではなく浅く横に広がるから、土もそれに合わせるのがコツだよ」また、秋と春に日当たり良かつ収穫しやすいように選定することで、美味しい実がつく木に仕上げる事が出来るそうです。「全体的に木が育ってきたので、収量が安定してきたね。でも収穫した分の20%ぐらいは選別しているよ」とのこと。

また、鳥よけにテープは張りますがネットは張りません。「自然の中で生かして上げるのとネットに囲まれて生きるのでは違うと思うよ。ブルーベリーも人間と同じだと思うよ」という言葉が印象的でした。

今年は暑く雨不足で天気予報とにらめっこ。雨が降らなければスリッパなどでは足りないそうで、1本の木にバケツ2杯の水をどばっとあげるそうです。草取りも虫取りも手でやるので「大変だよ」と言いつつも、今日も1本1本に手間と愛情をかけています。完熟した甘酸っぱい文樹さんのブルーベリーで美味しく爽やかな夏をお過ごし下さい。

【産地情報】

◎ブルーベリーの収量は少しずつ増え、22日(土)ぐらいから安定してくる予定です。また、8月下旬まで出荷予定です。